

宿泊税導入に関する検討結果について（概要報告）

令和7年1月29日

志摩市長 橋爪 政吉 様

志摩市宿泊税検討委員会
委員長 岡 良浩

志摩市において、地域産業の特徴である観光関連の産業振興と観光客をはじめ交流人口を増やすことで「住む人支え 来る人迎える 豊かな里と海のまち」の将来像を実現するため、本検討委員会では法定外目的税である宿泊税を観光振興のための新たな財源として導入することに関して、導入の妥当性、財源の規模及び使途、課税の対象の範囲、税率等につき多様な視点から検討を行ってきた。

これまで4回にわたり検討してきた結果の概要について、別紙のとおり報告する。

本報告を踏まえた上で、宿泊税を導入して効果的な施策に活用することにより、観光を中心とした地域経済の好循環が生まれ、持続可能なまちづくりにつながることを期待する。